

民間による

被災者に寄り添った

きめ細やかな支援と

被災高齢者等把握事業の

活用について

NPO法人岡山NPOセンター 代表理事

災害支援ネットワークおかやま 世話人

石原 達也

住民主体の課題解決支援

中山間・離島 地方創生

買物難民 地域学

モビリティ

空き家
・耕作放棄地

地域運営組織

小規模多機能自治



まちづくり会社
民間の公民館

パークマネジメント

企業連携

社会的投資
SIB



健康増進

自然治癒力の高いまち

官民協働



SDGs

CSR



岡山NPOセンター

バックオフィス
支援

NPO経営支援



ボランティア
コーディネーター

大学生・高校生の社会参加

子どもの権利
当事者理解



現代版助け合い

困窮者
支援
DX



石原 達也

社会の編集者/社会事業家

社会の仕組み屋



災害支援ネットワークおかやまとは？

民官連携の災害支援に取り組む個人と組織の常設ネットワーク。
2018年7月7日に設立。同年10月常設組織化。参加組織、世話人組織に加え、評議員として岡山県、岡山市等の自治体や日赤などの医療機関も加入。事務局：岡山NPOセンター。
参加組織(NPO/NGO,企業、士業等)約200組織。

2018年7月7日 「災害支援ネットワークおかやま(仮)」立上げ

2018年7月9日 災害支援ネットワークおかやま第1回情報共有会議

2018年10月18日 常設ネットワーク「災害支援ネットワークおかやま」再設立



民間支援→公的援助の隙間を埋める・補完する
市町村、災害VC、自主防災との協働

社協

【基本理念】

誰ひとり取り残さない支援

町内会
自主防
災

出張 うさぎカフェ in 真備

真備に避難の方と新しくお会いする方へ、真備で中のお茶会。ふだんは真備でやっている「うさぎカフェ」の真備まで出張。お茶会とハンドクラフト、絵画が楽しめる。真備の賑わいをお楽しみください。お茶会は毎月1回、毎月10日（土）の予定です。

どうぞお気軽にお越しください！

■日時：9月10日（土）13:00～15:00
 ■場所：真備 真備保健福祉会館3F大ホール（真備駅前15020-1）
 ■参加費：無料
 ■お問い合わせ：真備保健福祉会館 086-223-4401

訪問 ところ相談

真備保健福祉会館 3F大ホール

お茶会を開催しております。お茶会とは、お茶を飲みながら、お話しを交わすことです。お茶会は、お茶を飲みながら、お話しを交わすことです。お茶会は、お茶を飲みながら、お話しを交わすことです。



入学品支援
(塾・習い事支援)

支援してほしいママさんへ サポート依頼の仕方はこちら

被災地のママの要望をLINE@を利用して集めております。あったらいいな、嬉しいな～をお寄せください。

1 以下のLINE@に登録
 「被災地の子どもとママを支援@サンサガ岡山」
<https://line.me/R/ti/p/%40yvhd0332v>
 検索ID: @yvhd0332v

2 サポート希望の内容を送る
 お住まいの地区 避難場所*避難されている方のみ
 お子様の年齢 ご要望や困り事

応援したいママさんへ サポートの仕方はこちら

こちらのLINE@アカウントでは「支援、応援」のLINE@に繋がっていただき、ママさんに届けていただきます。

1 以下のLINE@に登録
 「被災地の子どもとママを応援@サンサガ岡山」
<https://line.me/R/ti/p/%40urw9172h>
 検索ID: @urw9172h

2 サポートできる内容を送る
 お住まいの地区と小学校区 支援できる内容

子ども用品など必要のあった物資の提供依頼も受け付けます。



家電提供

みんなの集落研究所 岡山NPOセンター

コミュニティ協議会支援

真備町広域センター 無料
 8月19日(月)
 10時半～13時
 温せご飯(60食)
 焼き鳥(150本)
 貝だくさんスーフ

被災地のママの要望をLINE@を利用して集めております。あったらいいな、嬉しいな～をお寄せください。

1 以下のLINE@に登録
 「被災地の子どもとママを支援@サンサガ岡山」
<https://line.me/R/ti/p/%40yvhd0332v>
 検索ID: @yvhd0332v

2 サポート希望の内容を送る
 お住まいの地区 避難場所*避難されている方のみ
 お子様の年齢 ご要望や困り事

被災地のママの要望をLINE@を利用して集めております。あったらいいな、嬉しいな～をお寄せください。

1 以下のLINE@に登録
 「被災地の子どもとママを支援@サンサガ岡山」
<https://line.me/R/ti/p/%40yvhd0332v>
 検索ID: @yvhd0332v

2 サポート希望の内容を送る
 お住まいの地区 避難場所*避難されている方のみ
 お子様の年齢 ご要望や困り事

弁護士無料相談

令和元年9月
 12日(木) 27日(木)
 13時～17時

倉敷市 真備保健福祉会館相談室

お問い合わせ 岡山弁護士会 TEL086-223-4401
 倉敷市民生安全課 TEL086-426-3111

民間だからできる柔軟な支援。

岡山県内外の様々な企業・事業所に様々な物資や技術の提供を依頼。



中山 智津子

2018年10月24日 · 🌐

真備に青汁。

復活したお店もたくさんあるけど、まだ何もできてない建物もたくさん。大阪や北海道に人手も材料も分散してなかなか工事が進まないと聞いています。

1枚目の写真は前田分館。物資の供給は10月末で閉鎖です。いつもそこにいるボランティアの方（その方も被災者）も青汁で調子良いと言ってくれました。

続いてすぐ近くの真備支所の二階へ。石原 達也さんのご紹介で社協さんのいる支え合いセンターへ。仮設にお住いのお家に訪問して下さってるので、その時に一緒に持って行ってもらって、話題作り、健康づくりについて話して下さいませ。

これからしばらくこの形で支援します。集会所などにも持っていけると良いな！



あなた、十時 奈々、柏原 拓史、他94人

コメント2件

いいね!

コメント

シェアする



石原 達也 ありがとうございます！

仮設の集会所、イベントのタイミングで設置できるように調整します。



2018年12月末までで…

- 支援物資数 1611個
- 支援金額 2,638,345円
- プロジェクト数 16 ※現在も一部支援募集中

物資供給拠点支援 プロジェクト@箭 田分館

被災者向けの物資の供給拠点となっ
ている真備公民館分館の一つ、箭田
公民館におき行政では対応が提供でき

物資供給拠点支援 プロジェクト@岡 田・辻田分館

被災者向けの物資の供給拠点となっ
ている真備公民館分館の一つ、岡
田・辻田公民館。災害後の生活に必要

新設避難所支援プ ロジェクト@まき び荘

学校再開に向けて統廃合されていく
中で、避難者を受け入れる新しい選
難所がまきび荘にあります。その一つ、ま

指定外避難所支援 プロジェクト@上 有井公民館

行政の指定を受けていない自主避難
所はなかなか公的な支援の手も届か
ない場所であり、民間での支援がな



『災害サポート・レンタカー』

事前に電話でのご予約が必要です。当館に限りがあります。
お申込みいただいた順番に先にお貸しできる順番です。

※この事業で実施された方々を対象に無料中、軽自動車も無料で
お貸しします。（保険加入経緯不明）※この事業は真備町協
会です。参加なくとも来るのが大変な方々に助けください。

- 軽乗用車は借長1カ月間（申込み後車が届いてからの期間）
申込受付期間の月末日まで
- 軽トラ・軽バンは借長2日間（10月末まで）
※軽トラ・軽バンは10月までお貸しします。

3歳以上



倉敷市災害ボラン ティアセンター泥 かき作業応援プロ ジェクト

災害ボラセンでは主に真備町の家屋
片付けなどの支援に取り組まれてお
り、日々多くのボランティアの方が
来られています。その物資支援に取り
組んでいます。

被災地の子どもと ママのための支援 プロジェクト@サン サポートオカヤ マ

独自のLINE登録者様390名のママへ
のアンケートを取り、要望の多かつ
た物資支援に同じママのグループが
取り組むプロジェクトです。

災害サポートレン タカー支援プロジ ェクト

被害で自動車を失った方に生活の足
としてのレンタカーの無料貸し出し
を行う日本カーシェアリング協会の
「災害サポートレンタカー」事業の
継続を支援するために行うプロジ
ェクトです。

民間医療・介護相 談所支援プロジェ クト@ぶどうの家

医療や介護に不安を抱える高齢者
の方などをサポートしようと民間によ
る医療介護の相談所が真備町園分館
に開設されています。その運営主体
「ぶどうの家」を支援するプロジ
ェクトです。


MOMO TAROU KIKIN
 ももたろう 基金

新山県内における
 平成30年7月東海
 被災地支援
 寄付基金

寄付者 **676人** 寄付額 **49,044,678円**
 77プロジェクト 助成額 **39,012,967円**

2020年5月31日時点の情報です（7月30日更新）



**避難所支援プロジェクト
（緊急物資提供事業）**

- 実施団体：避難所支援プログラム
- 助成金額：5,685,000円

避難の人たちが避難している避難所への物資提供事業。市、地区のコミュニティ組織と連携して実施。14の主体が協賛主体となり活動している。



がんばれ川辺っ子支援事業

- 実施団体：川辺小学校PTA
- 助成金額：350,000円

川辺小学校の児童への学用品提供事業、学用品支援、学校イベント開催の支援。



豊敷市真備町尾崎地区のコミュニティ再建事業

- 実施団体：いんすべつ三陸豊敷市委員会
- 助成金額：900,000円

真備町のNPO法人による活動支援を通じて、コミュニティ再建サポート活動。実用物資の配布や炊き出し、生活相談カフェを通じて地域のコミュニティ再建を目指す。



**7.7西日本豪雨災害支援
「財産保護活動」**

- 実施団体：認定NPO法人ハート・オブ・ゴールド
- 助成金額：500,000円

立ち入り禁止区域の街路すの草履から個人・団体・企業からの委託を受けて財産保全活動を行う。メンバーは若者・高齢・海上保安官の経験、OBで構成されており、ボランティアを通して個人から、また企業や消防などから依頼されて活動を行っている。



**避難所における
性被害の予防事業**

- 実施団体：CAPおかやま
- 助成金額：400,000円

被災した真備の避難所における性被害の予防（現地パトロールと訓練の開催）。



**真備の医療拠点仮設診療所設置
プロジェクト**

- 実施団体：一般社団法人吉備医療会
- 助成金額：1,000,000円

被災した真備に医療が展開されるように仮設診療所を設置する。



**アロマと整体で
母子サポート事業**

- 実施団体：（一社）くらーん
- 助成金額：150,000円

総社市および豊敷市の避難所での特に幼い子どもを抱えた母親に対してアロママトリートメントを実施。週1〜3回実施。2名1組で寄り、1名は託児担当。



**笠岡市ボランティア本部
運営事業**

- 実施団体：もろきんプロジェクト@笠岡
- 助成金額：500,000円

笠岡市で床上津水住宅の復旧活動を行う民間ボランティアセンター。行動等と連携し実施。1日100名程度派遣。



**子どもの学習サポート
および出張教室**

- 実施団体：岡大教育学生ボランティア
- 助成金額：100,000円

避難人数が少なく、学習支援の機会にくい箇所を中心に被災した子どもの学習支援を行う。

民の柔軟な取り組みを支える基金の存在(コミュニティ財団)

災害時中間支援組織の12の役割

1.情報共有会議

支援者間の連携・協働

2.支援者のオンラインコミュニティ構築(ニーズ把握とコーディネート)

3.行政制度把握・折衝

情報の収集・把握

4.ボランティアセンターの把握

5.在宅避難者の把握調査

調査と提言

6.避難所の把握調査

7.支援者向け情報発信

情報の発信

8.被災者向け情報発信

9.支援者の拠点コーディネート

資源の仲介

10.支援者の資源調達支援(物資など)

11.支援者の資源調達支援(資金提供など)

12.支援者の資源調達支援(資金提供のインフラ支援など)

全国で
初めて
岡山で
整理

①情報共有会議



【**県域会議（岡山市内）**】
毎週木曜日に7月9日～開催。
@岡山県総合福祉会館
当初**100人**規模→50人→30人



【**@くらしき会議**】
毎週火曜日に開催。
@倉敷市災害VC →@まびシェア
当初**40人**規模→30人

②支援者のオンラインコミュニティ構築 （ニーズ把握とコーディネート）



Facebookのグループ
を活用



Facebookの
グループへ
は**1,140人**が
参加

リアルタイムでの調整
や連絡

グループと
ページの
使い分け

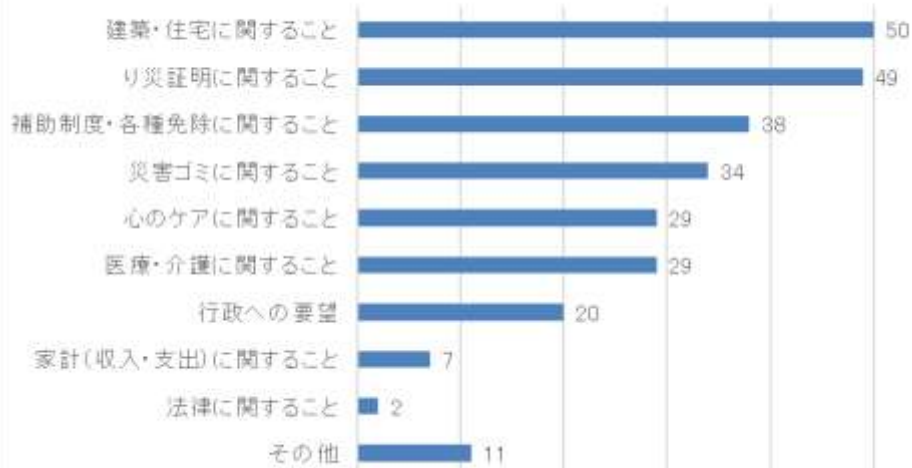
⑧被災者向け情報発信

支援情報まとめサイト「うったて。」

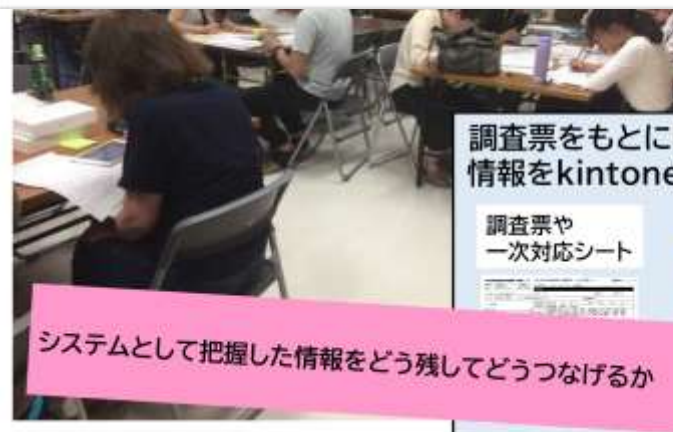


官民の様々な支援情報をまとめ、QRコード付きカードを配ってお知らせ。
11人のボランティアライターさん(全国)で運営。

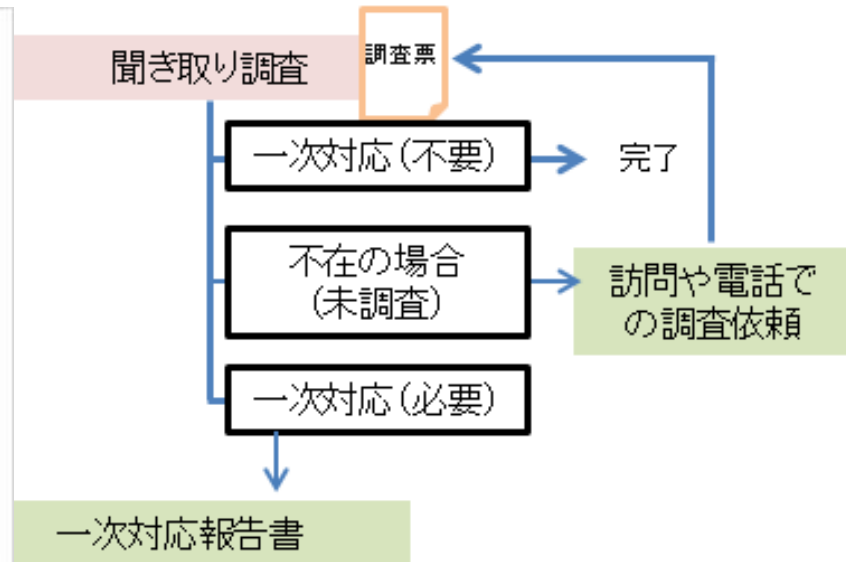
一次対応の内容



一次対応の方法



聞き取り調査

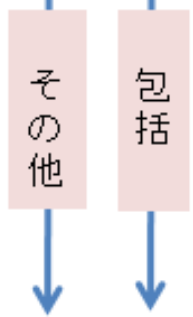


担当:高平

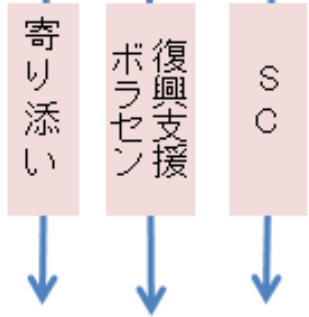
事務局に提出 引継ぎ検討会議



岡山市担当課



岡山市社協



事務局

支援会議:事務局による 引継ぎ先機関



その後の被災者支援 2021年度

基本

情報共有会議(月1回開催)

災害対応(県内)

真備支援

まびシェア閉所後、お互いさまセンターまび内にデスクを設置し、スタッフ1名を配置。

○相談対応・支援調整 総数35件(支援調整11件・相談対応10件・活動支援2件・会議参加10件)2022/1/17時点

- ・広域支援団体のシーズ調整:災害記録誌作成支援、非常食の提供、防災講座の提供など。
- ・支え合いセンター連絡会と、センターからのニーズに対する支援調整
- ・真備連絡会参加 等

○イベント・研修・サロン情報収集と共有

- ・復旧し再開した公共施設の講座・イベント情報の収集、地域情報の収集
→倉敷市くらしき情報発信課への共有:まび復興だより掲載
- ・倉敷市社会福祉協議会生活支援コーディネーターヒアリング(月1回程度)
→情報共有会議での情報共有(建設仮設・みなし仮設支援、復興公営住宅、地域サロンの情報など)

○晴れの国たすけあいプロジェクト

- ・月1回の定例会議開催
真備で活動を続けている支援組織の活動情報共有。
- ・コロナ禍での支援のためのガイドラインの作成。その他、蛇や虫などの毒に対する応急処置、草刈のガイドラインなど作成。
- ・支え合いセンターからの個別ニーズに対応。引越し、家財の片付けなどが主なニーズ。



その後の被災者支援 2022年度

基本

情報共有会議(月1回開催)

災害対応(県内)

真備支援

お互いさまセンターまびからデスクを引き上げ。岡山から地域活動の支援を行っている。

○相談対応・支援調整 総数35件(支援調整11件・相談対応10件・活動支援2件・会議参加10件)2022/1/17時点

- ・広域支援団体のシーズ調整:災害記録誌作成支援、河川樹林化防止の為にワークショップ開催、家屋の改修と福祉的活用の相談対応。
- ・支え合いセンター民間連携会議参加(7月で終了)、センターからのニーズに対する支援調整
- ・真備連絡会参加 等

○イベント・研修・サロン情報収集と共有

- ・復旧し再開した公共施設の講座・イベント情報の収集、地域情報の収集
- 倉敷市くらしき情報発信課への共有:まび復興だより掲載
- ・倉敷市社会福祉協議会生活支援コーディネーターヒアリング(月1回程度)
- 情報共有会議での情報共有(建設仮設・みなし仮設支援、復興公営住宅、地域サロンの情報など)

○晴れの国たすけあいプロジェクト

- ・月1回の定例会議開催
真備で活動を続けている支援組織の活動情報共有。
- ・支え合いセンターからの個別ニーズに対応。引越し、家財の片付けなどが主なニーズ。
- ・被災者支援ニーズはほぼなくなり、地域イベントや防災減災活動のサポートへ移行している。



災害支援ネットワークおかやま・評議員、世話人

評議員

岡山県
(県民生活部県民生活交通課)
岡山市
(市民協働局市民協働企画総務課)
倉敷市
(企画財政局市民活動推進課)
瀬戸内市
(総務部危機管理課)
浅口市
(企画財政部地域創造課)
鏡野町
(くらし安全課)

世話人

社会福祉法人岡山県社会福祉協議会
一般社団法人岡山県社会福祉会
岡山県登録災害ボランティアコーディネーター
生活協同組合おかやまコープ
おかやまバトン
特定非営利活動法人オカヤマビューティサミット
岡山弁護士会
ぞうきんプロジェクト実行委員会
日本赤十字社 岡山県支部
一般社団法人ほっと岡山
「被災家屋」部会世話人
(ファイナンシャルプランナー 佐藤奈名)
「避難所・建設仮設生活支援」部会世話人
(NPO法人災害支援団Gorill 代表 茅野匠)
「物資支援」部会世話人
(一般社団法人おいでんせえ岡山 理事 逢澤直子)
特定非営利活動法人岡山NPOセンター
(代表理事 石原達也)

【災害時の連携から発展して】

岡山市×岡山市社協×災害支援ネットワーク(岡山NPOセンター)
の3者でボランティアセンター運営を担う枠組みを提携



災害時支援の全体像

仕事

生活

家

生業 仕事

- ・田畑の泥かき
- ・農業支援
- ・自立化補助金
- ・再就職支援
- ・自動車

復興 支援 住宅

- ・コミュニティ
- ・慰問
- ・住環境
- ・グリーンケア

仮設 住宅

- ・コミュニティ
- ・買い物
- ・慰問
- ・住環境
- ・グリーンケア

避難所

- ・運営
- ・衛生
- ・介護
- ・医療
- ・清掃
- ・物資
- ・炊き出し
- ・慰問
- ・マッサージ
- ・不動産相談

被災 家屋

- ・片付け
- ・泥かき
- ・清掃
- ・消毒
- ・床はがし
- ・ブルーシート
- ・写真洗浄
- ・美術品修繕
- ・家電提供
- ・生活再建
- ・ローン減免
- ・法律相談

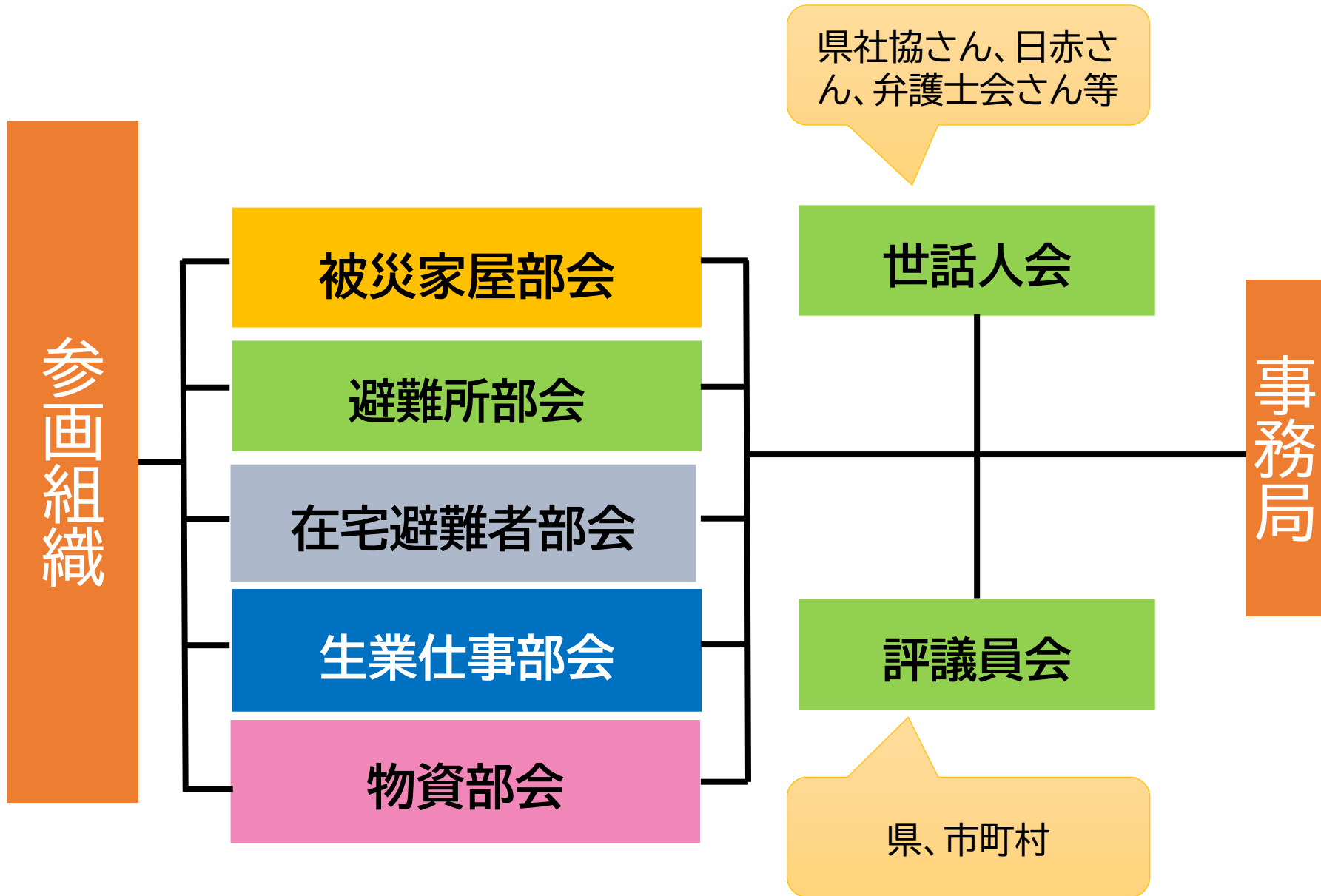
要配慮者支援

要介護、医療、障害、認知症、ペット、子ども、妊婦、学生、外国人、子育て、LGBT etc.

在宅避難者

- ・把握調査
- ・炊き出し
- ・医療
- ・介護
- ・車
- ・自転車
- ・買い物
- ・物資
- ・手続き
- ・法律相談
- ・災害ゴミ
- ・コミュニティ
- ・生活再建
- ・住環境
- ・グリーンケア

組織図



被災家屋部会

水害編 復旧ロードマップ

被災後の復旧についての大きな目安です。ご確認ください。

生活 罹災証明 保険
生活再建計画
 罹災証明・立書書・罹災補助金
 復旧計画 借入/返済計画 家計の立て直し

写真記録 家財搬出
 写真や大切なもの保護
 災害廃棄物搬出

家屋処置
 新たな生活へ
 新築
 リフォーム
 住み替え
 家屋処置の手順
 被害ある場所を
 取り除きます
 清掃・洗浄
 修繕
 撤去

罹災証明申請
 24時間受付
 24時間受付
 24時間受付

写真の撮る
 撮影方向
 撮影条件
 撮影方法

被害認定の目安
 被害認定の目安
 被害認定の目安

家屋処置の手順
 被害ある場所を
 取り除きます
 清掃・洗浄
 修繕
 撤去

新たな生活へ
 新築
 リフォーム
 住み替え
 家屋処置の手順
 被害ある場所を
 取り除きます
 清掃・洗浄
 修繕
 撤去

自動車編 復旧ロードマップ

被災後の自動車の処置についてです。ご確認ください。

発災 → **写真記録** → **保険会社へ** → **代車の調達** → **新たな車の調達**

被災後の自動車の処置についてです。ご確認ください。

発災直後
 安全確保
 エンジンキーを
 返さない
 ハイブリッド車
 電気自動車
 洗車はNG

写真記録
 写真や大切なもの保護
 災害廃棄物搬出

保険会社へ
 事故報告
 保険・補償手続き
 即日 保険ある or なし
 車庫に入っている保険が
 わからないとき
 0120-501331
 0570-023-140

代車の調達
 保険会社
 中古車店
 レンタカー

新たな車の調達
 中古車店
 レンタカー

車庫の廃棄
 廃棄のタイミング
 廃棄の手続き
 廃棄の費用

無償のレンタカー
 被災者支援センター
 0120-501331
 0570-023-140

31までの準備に使える 災害地での重機作業の基礎を学ぶ

まび重機ワークショップ基礎編 開催!

5/27(日)	5/28(月)	5/29(火)	5/31(木)
10:00-20:00	10:00-17:15	10:00-17:15	10:00-17:00
オンライン	朝日新聞	高橋建設株式会社 新聞行動	高橋建設株式会社 新聞行動
事前申込済	講習	講習	ワークショップ

お申し込み方法
 WEBフォームからお申し込みください。

お問い合わせ先
 0570-023-140



災害支援ネットワークおかやま被災家屋部会 令和4年度人材育成実践研修

被災者の生活再建を見据えて

水害の被災家屋復旧の手順とボランティアコーディネーションについて学ぶ

被災者の生活再建を見据えて
 水害の被災家屋復旧の手順と
 ボランティアコーディネーション
 について学ぶ

被災者の生活再建を見据えて
 水害の被災家屋復旧の手順と
 ボランティアコーディネーション
 について学ぶ



避難所部会

2023/4/8

災害時における炊き出しに関するガイドライン

概観

このガイドラインは、日本国内における、災害により被災した人々の食（炊き出し支援）の支援において、その活動・業務を円滑に、人命を第一（緊急事態またはその直後における、人命救助、苦痛の軽減、人命の尊厳の維持及び保護のための支援）の精神で、活動を行う民間団体、組織、個人の実践活動における安全・衛生と、被災者へ提供する食についての指針である。

第一章 炊き出し活動参加の前に

炊き出し活動は、体力を費し消費することもあり、参加者の安全管理上、以下の項目に該当する旨の参加については、活動の参加を受け入れられない場合があります。

- ① 体調の優れない方
- ② 熱が37度以上ある方
- ③ その他、《風邪等》第一者一感地をさせる可能性があると思われる方
- ④ 持病等により、何らかの薬を服用しなくてはならない方
- ⑤ その他、臨時的に活動参加が難しいと判断した場合

現場では、予断での調理を行う場合と比べ、環境が著しく整っていない場合も想定され（例、ガス、電気が使えない状況や、屋内での調理施設が不可能な場合も想定する）各参加者の体調管理についても、留意を促します。あくまでも自己管理が基本で、健康な方の参加をお願いします。

**災害時の炊き出し支援
に関する実践研修
in 真備**

食事の支援における炊き出しガイドラインに基づく
(制作：NPO法人 災害支援団Gestia)

**試験合格者には
修了証を
発行します**

実際の炊き出しの要領で指導していただけるので、いざという時の即戦力になると感じた。

家で作るご飯、料理教室と違う点を学べます。すぐに役立ちました

食事の支援における炊き出しガイドラインに基づく
災害時の炊き出し支援に関する実践研修

【第1回 豊後国】 4月8日(土) 13:00～17:00

7:30 (正) 13:00～13:00

会場：真備町ふれあい総合センター 4F研修・フリースペース
(真備町立総合体育館1F) 13:00～13:30(受付)

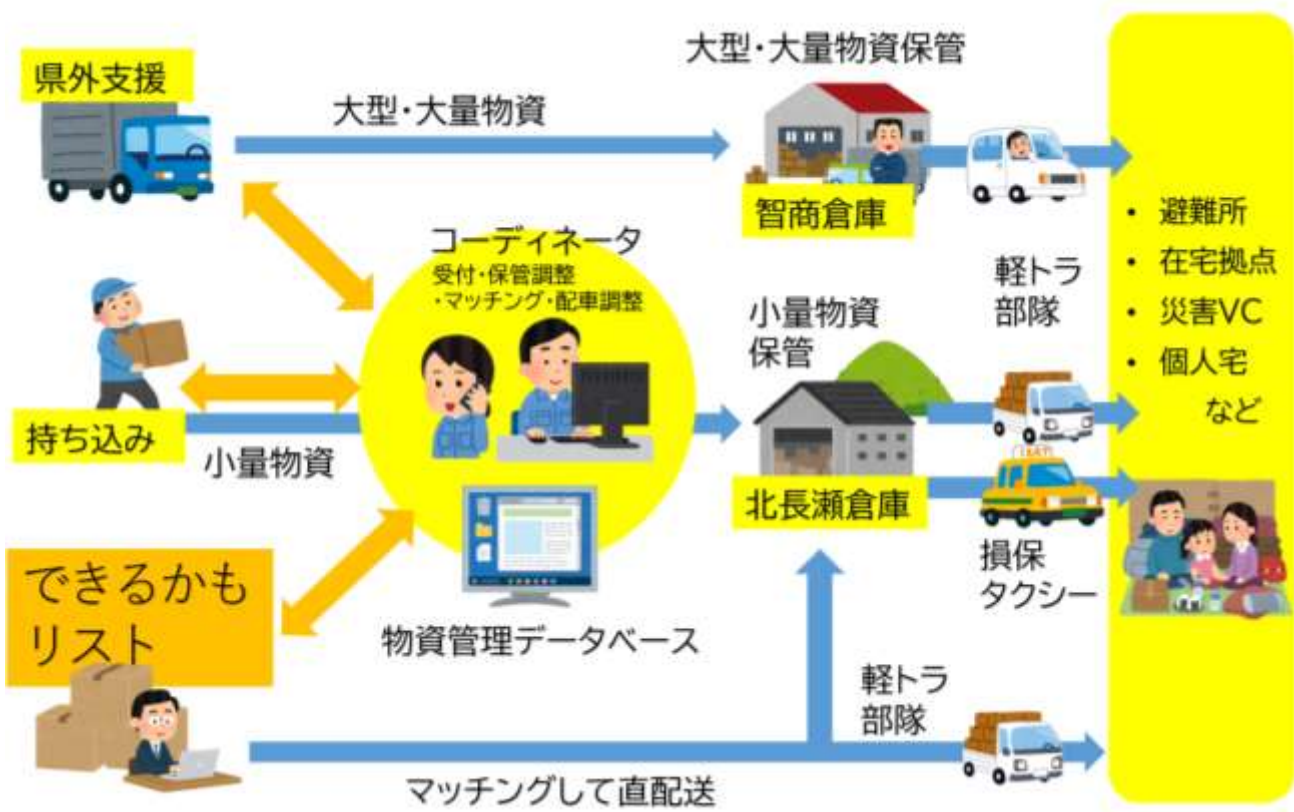
主催：NPO法人 災害支援団Gestia

食事の支援における炊き出しガイドラインに基づく
災害時の炊き出し支援に関する実践研修in津山

【制作：NPO法人 災害支援団Gestia】



物資部会



平時から動く 災害ボランティア養成講座 "はこぶ"でたすける

災害時に全国から寄せられる物資や資材などの支援を、避難所や災害ボランティアセンター、在宅避難者の生活拠点などの被災地内や被災地に迅速に届けるためには、機動性の高い車両での配送が必要となります。この講座では物資支援の基礎や西日本国際災害での体験を聞いて物資支援について学びながら、平時から繋げる関係をつくっていきます。

日時 2021年5月22日(土)
時間 10:00~12:00(受付開始9:50)
会場 オンライン(Zoom)
対象 物資輸送ボランティアを学びたい方

参加費 ◎加無料
 2021年7月4日(日)に
 現地研修も付きます。
 ぜひあわせてご参加ください！
 申し込みは下記リンク先
<https://www.waifu.or.jp/entry>

内容 西日本国際災害支援の経験から
 河合 賢典 さん(株式会社 警備保障 代表取締役)
 津原 美久 さん(合同会社waifu 代表)
 はこぶスタッフ
 フシリターナー 志保 達也(災害支援ネットワークおみやげ屋主人)

お申し込み
 右の二次元コードもしくは下のURLから申し込みください。
<https://forms.gle/189986m3u3A2A>

主催：西府連合
 協賛：西府連合ネットワーク協会 物資支援部会（事務局：物資管理センター 岡山APUセンター）
 TEL 086-234-2882 Eメール waifu@waifu.or.jp



"はこぶ"で助ける 物資倉庫シミュレーション

日時 2022年6月18日(土) 10:00~14:00
場所 北長瀬未来ふれあい総合公園管理棟 多目的倉庫
対象 物資管理に興味のある方
参加費 無料
内容 トラックから倉庫への荷下ろし
 倉庫からピッキング、積み込み
 振り返り

物資支援に関する民間連携

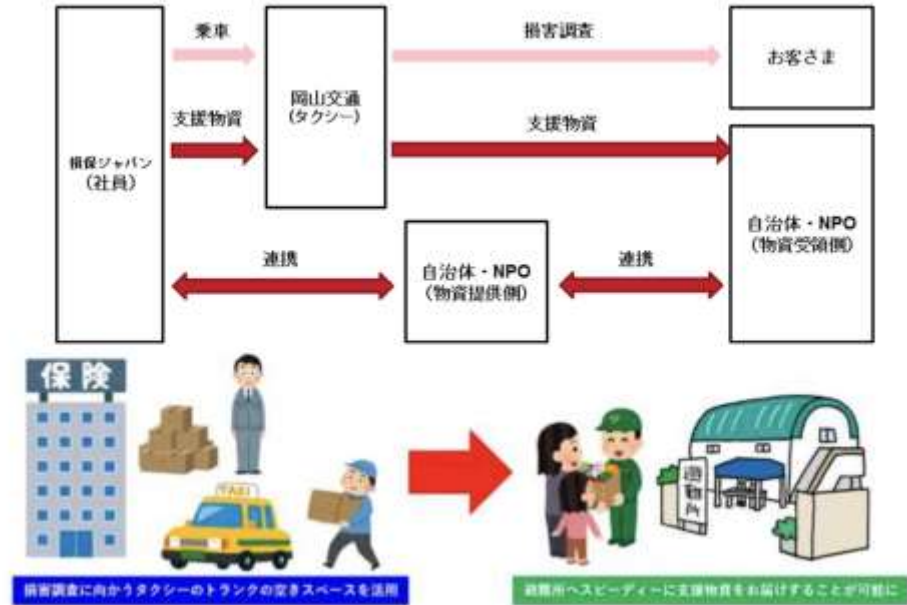
損保ジャパン株式会社・岡山交通株式会社



2022年10月5日
レジリエンスな岡山の実現に向けた3者間包括連携協定を締結しました。

損保ジャパン株式会社・岡山交通株式会社と災害支援の包括連携協定調印式を行いました。三者での取り組みのはじめとして災害発生時の物資支援の仕組みづくりを行っていきます。

【災害発生時の支援物資運搬スキーム】



避難所等の支援状況を共有するプラットフォーム

支援のためのツール・システムの開発 ※JPF助成、岡山NPOセンターが開発



支援先の支援状況リアルタイム共有アプリ「災凶」

岡山NPOセンターの事業として、災害時の情報共有が円滑に進むシステムづくりをジャパンプラットフォームによる休眠預金等活用事業として行っています。支援が必要な場所ごとの状況・課題・現状の支援とその差引と予測で必要な支援を見出し、リアルタイムで動きが共有できることを目指しています。各種共有した情報によりニーズシーズのマッチングの迅速化、カルテや地図としてのアウトプット、団体の報告業務の簡素化などの効果を期待しています。

災害支援情報共有システム



災害支援に関する専門用語や組織のウェブ百科事典

支援のための情報基盤 ※JVOAD助成、岡山NPOセンターが開発して公開



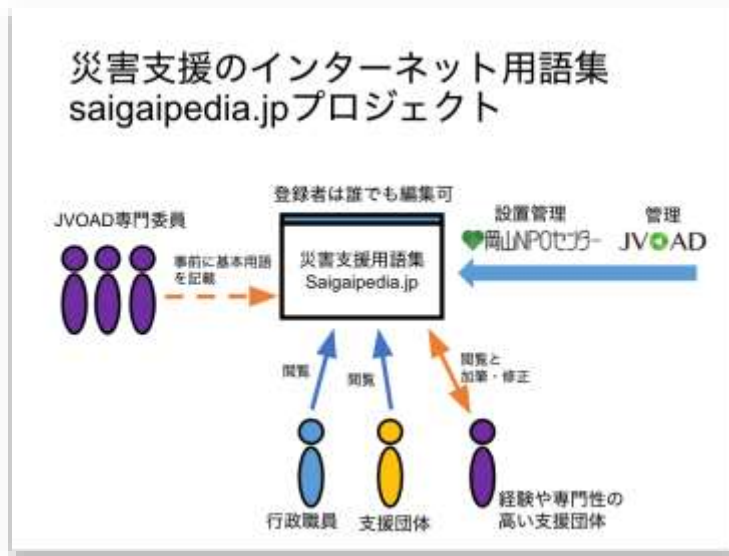
災害支援用語集サイガイペディアの公開

全国初の災害支援に関する災害支援者による共同作業によって執筆されるフリー用語集「サイガイペディア」(ウェブサイト)を開発。ウィキペディアのように支援者が共同執筆して成長させる用語集です。

設置にあたりJVOAD専門委員の方に執筆いただき収録語数73語でスタートし、現在130語を収録しています。被災地でパッとみて理解できる用語集になるよう、取り組みを進めています。



<https://saigaipedia.jp/>



炊き出し受発注を円滑に

支援のためのツール・システムの開発 ※JVOAD助成、岡山NPOセンターによる関連事業



炊き出し マッチングアプリ

岡山NPOセンターの事業として、炊き出しを募集する避難所や支援拠点の運営者が炊き出し支援をしてくださるNPOや企業を募集し、支援できるNPOや企業が申込みをできる炊き出しマッチングに特化したアプリを開発。

物資（炊き出し）募集の登録ができるようになります。



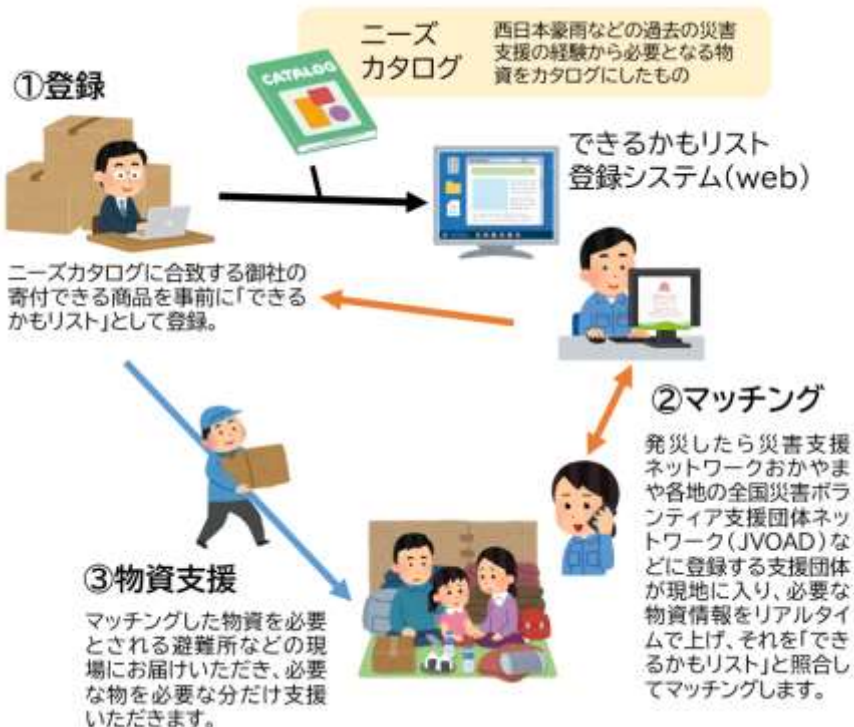
地元企業の提供可能物資を事前登録

支援のためのツール・システムの開発 ※JVOAD助成、岡山NPOセンターによる関連事業



「できるかもリスト」 支援カタログ&提供物資の事前登録システムの開発

岡山NPOセンターの事業として、西日本豪雨でも災害支援ネットワークおかやまで活用した「スマートサプライ」を運営する（一社）スマートサプライビジョンとの協働により、災害時に必要となる物資の「ほしいかもリスト（＝候補リスト・ニーズカタログ）」をネット上に作成し、そのカタログにあるものについて発災時に提供ができるという企業がカタログから選んで提供候補数を登録する「できるかもリスト」を作成してもらうことで、発災時にスピード感を持ってマッチングできるシステムを開発。損保ジャパンとのパートナーシップで普及を行うと共に、佐賀や千葉などの協定先にも広げています。その他、県ICなど複数社にも登録を打診中です。



プロジェクト需給バランス

支援プロジェクト全体の「ほしいかも」と「できるかも」の需給バランスを確認できます。

組織登録する項目をクリックしてください

品名	ほしいかも	できるかも	品名	ほしいかも	できるかも
新品タオル (柄あり)	12	0	スコップ	7	0
メガホン/マイク	3	5	くわ	6	35
発電機	2	20	タオル	0	1,020
竹ぼうき	0	29	ちりとり	0	25
パール	0	20	ブルーシート	0	20
救急セット (備え置き)	0	20	AED	0	2

発災7日間の石原の動き

7月6日(金)豪雨初日

- 職員への基本自宅待機を指示
- 就寝前、明日から動く決める

7月7日(土)豪雨2日目

- 岡山県社会福祉協議会へ「災害支援ネットワークおかやま」の立上げを合意。第1回会議を9日(月)に設定。県などと会場調整。
- 関係機関へ連絡。中国5県で共有開始
- 臨時職員の雇用手配
- 間にFBメッセージとLINEで繋ぎ多数

7月8日(日)豪雨3日目

- 倉敷市社協の職員へ支援提案

- 岡山市職員への支援提案
- みんなでつくる財団おかやま基金設置作業。「ももたろう基金」リリース
- 県社協、支援Pと合流し、流れを共有。
- 共同代表と予算の話

7月9日(月)

- 支援先(NPO・地域組織)安否確認の指示
- 岡山市役所を訪問し打診
- 倉敷市社協とVCセットアップ会議
- 第1回災害支援ネットワークおかやま会議

7月10日(火)

- キャンパスの現地入りを支援。

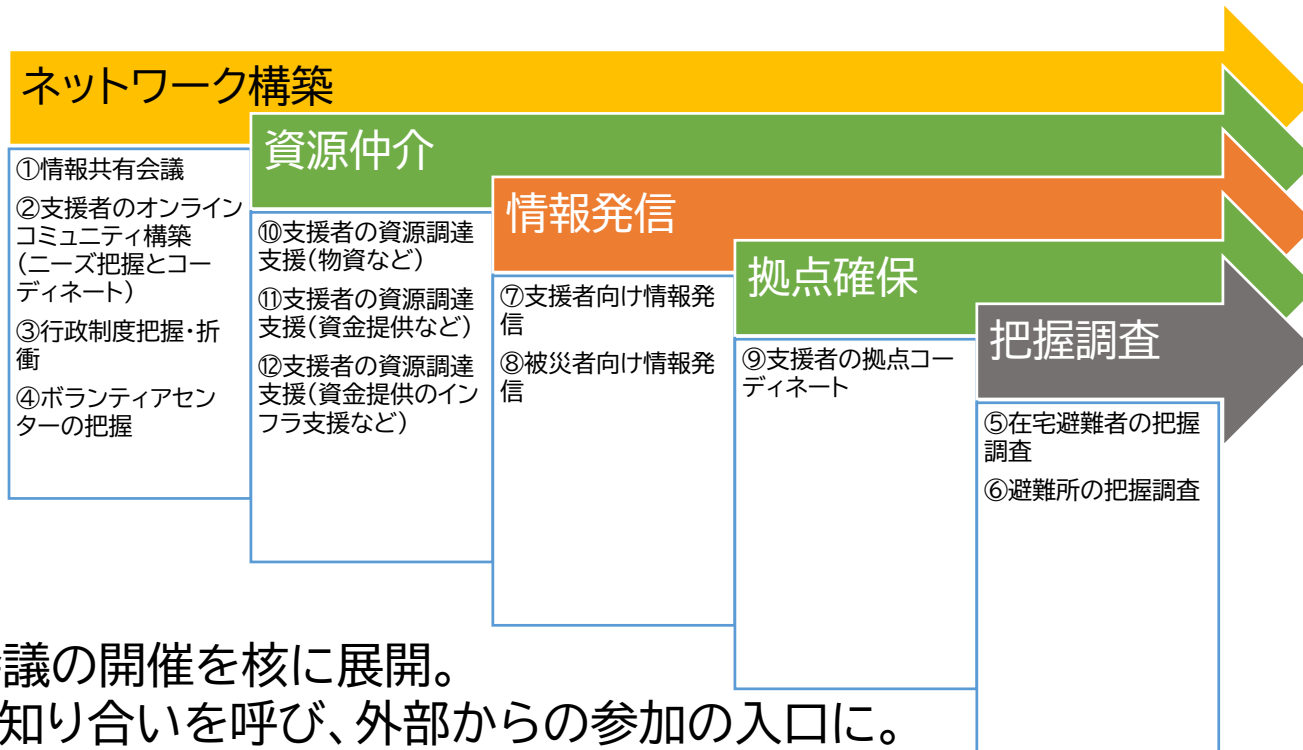
- 倉敷市災害VCのセットアップ支援
- 倉敷市へ職員2名の派遣決定。(一般職員+看護師byみん研)
- 岡山市災害VCへ職員1名を派遣決定。

7月11日(水)

- 倉敷市、岡山市の災害VC開設
- スマートサプライ導入打ち合わせ

7月12日(木)

- 臨時職員を倉敷市災害VCに配置
- 第2回災害支援ネットワークおかやま会議



情報共有会議の開催を核に展開。
知り合いが知り合いを呼び、外部からの参加の入口に。